

東京都地方独立行政法人評価委員会
平成25年度第2回試験研究分科会 議事概要

- 1 日 時：平成25年7月25日(木)14時00分から17時00分まで
- 2 場 所：都庁第一本庁舎33階北側 特別会議室N1
- 3 出席者：板生分科会長、井上委員、鞠谷委員、北村委員、渡辺委員（五十音順）
- 4 議 題：
 - (1) 審議事項
平成24年度地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター業務実績評価（案）について
 - (2) その他
- 5 議事概要：
 - (1) 平成24年度地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター業務実績評価（案）について

○ 項目別評価

24の項目別評価の単位ごとに、事務局が取り纏めた評価及び評価説明文について検討（資料1）

【委員意見】

＜項目4＞製品開発、品質評価のための支援（高度分析開発セクターについて）

高性能な機器の導入実績だけでなく、研究員の高度な分析能力の維持が重要であることも表記すべきである。

＜項目5＞製品開発、品質評価のための支援（システムデザインセクターについて）

産技研では、早くから高速造形機を整備してきたことから、今後の高速造形機利用にあたってのテーマや工夫の提案等、オピニオンリーダーとしての動きがもう少しあることが望ましい。

＜項目9＞新事業展開、新分野開拓のための支援（中小企業振興公社等との連携、知的財産総合センターとの連携について）

連携会議やセミナーの開催等、年度計画に沿って着実に実施されているが、毎年同じような実績となっている。評定説明を、より踏み込んだ連携を期待していることを明らかにする表記にすべき。

＜項目 10＞新事業展開、新分野開拓のための支援（特許出願及び使用許諾について）

研究者数に対して、独自の特許数はそれほど多くないが、公的機関としての立場を踏まえると、共同研究先との特許出願が増加している点や、使用許諾数が一定数確保している点は評価したい。

＜項目 15＞行政及び他の支援機関との連携による支援

新たな連携協定数の拡大は非常に評価できる。今後も、締結した協定の積極的な活用を期待したい。

＜項目 16＞基盤研究

全体業務のバランスの中で、機器利用や依頼試験が大幅に実績を伸ばし、中小企業支援の比重が重くなっている中で、基盤研究についても、今後どのように力を入れていくかといった点を表記する必要がある。

＜項目 19＞技術者の育成

技術セミナーや講習会は、実際に行うとなると非常に大変である。産技研の組織規模で、中小企業支援サービスや研究等を行いながら、この件数をこなしている点は、評価されるべきであろう。

○ 全体評価

全体評価に関し、事務局が取り纏めた評価及び評価説明文について検討（資料 2）

【委員意見】

- ・ 全体評価結果については、「業務全体が優れた進捗状況にある」が妥当。
- ・ 24 年度は、新本部開設後に通年で安定稼働させた初めての年であるにもかかわらず、技術相談や依頼試験、機器利用で過去最大の中小企業支援実績をあげた点は評価に値する。
- ・ 今後は、中小企業支援サービスや研究等の各事業分野に、有限なリソースをどのように配分するかを明確化することが望ましい。その上で、目標に向かってまい進してほしい。

(2) その他

事務局から今後の日程（資料 3）について説明

以上